



出会い……

副校長 田中 すみ子



春4月、日本では新しい年度の始まりです。日本の春と言えば桜。ピンク色の満開の桜を思い描くだけでも、新しいスタートに向けて気持ちがワクワクしてきます。今は「年度末」のまとめの時。歩いてきた道を振り返ると、『学校』は季節感のある所だと改めて思います。

さて、話は2年ほど前にさかのぼります。夜遅い時間帯に、見るとも無しにテレビをつけていたところ、「えっ？」と思わず引き込まれた番組がありました。画面に映っているのはメガネをかけた青年。重度の自閉症で人とコミュニケーションをとることもままならない、じっとしていることもできず、部屋の中をくるくると周り、窓から外を眺めてはピョンピョンと跳びはねています。番組ではナレーターが、その青年が書いた『自閉症の僕が跳びはねる理由 (わけ)』という本の中の文章を読んでいました。

「どうして同じことを何回も繰り返して質問するのですか。」という問いに、「今言われたことも、ずっと前に聞いたことも、僕の頭の中の記憶としてはそんなに変わりありません。」「みんなの記憶はたぶん線のように続いています。けれども僕の記憶は、点の集まりで、僕はいつもその点をひろい集めながら記憶をたどっているのです。」と答えているのです。私は、「記憶が線のように続いている」などと考えたこともなく、そう言われれば、なるほどと思います。けれども自閉症のその青年は、「記憶は点の集まり」「ひろい集めながら記憶をたどっている」と言うのです。しかもその本は、青年が13歳の時に書かれたということには衝撃さえ受けました。

青年の名前は東田直樹^{ヒガシタナオキ}さん。『自閉症の僕が跳びはねる理由 (わけ)』はその後、アイルランドのベストセラー作家デビッド・ミッシェルさんに見いだされ、やがて20カ国語に翻訳されました。東田さんは作家として生きる道を選び、7年後、重度の自閉症の息子をもつミッシェルさんの訪問を受けることとなります。その中で次のように言っています。

「何が一番つらいのか。自分がつらいのはがまんできます。しかし、自分がいることで周りを不幸にしていることには耐えられないのです。」

「自閉症のお子さんに父親として何をしてあげればいいのか、と僕に質問されました。僕は、そのまま十分だとお答えしました。子供が望んでいるのは親の笑顔だからです。僕のためにだれも犠牲になっていないと、子供時代の僕に思わせてくれたのが僕の家族のすごいところです。」

涙が止まりませんでした。私は、自閉症に対する認識の甘さを恥じました。同時に、子を思う親心、親の愛情を体中で受け止め、家族への感謝の気持ちを育む子、そして支援される自閉症の青年ではなく個性として発信している青年の感性の豊かさに感動しました。

最後に、東田さんが講演で訪れたニューヨークでの言葉を紹介します。

「自由の女神を見たときに、自分もこんな風に空に向かってまっすぐに生きていきたいと思いました。」

- | | |
|--------|------------------------|
| 生活目標 | 「寒さに負けず元気に遊びましょう。」 |
| あいさつ目標 | 「できるかな？その場に合ったことばづかい。」 |
| 保健目標 | 「体をたくさんうごかそう。」 |
| 給食目標 | 「すききらいしないで食べましょう。」 |

平成29年2月 行事予定		
1	水	安全指導日
2	木	新1年生保護者説明会(15:00)
3	金	体育朝会
4	土	
5	日	
6	月	全校朝会 委員会活動
7	火	幼稚園との交流会(1年)
8	水	たてわり長なわ集会
9	木	東京藝術大学生によるアウトリーチ(4年)
10	金	保健集会 避難訓練 保育園との交流会(1年)
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	全校朝会 クラブ活動(3年クラブ見学)
14	火	
15	水	児童集会 午前授業(小学校教育会研究発表のため)
16	木	ハッピータイム
17	金	米とぎ体験授業(3年)13:45~14:30〔公開〕
18	土	葉かげのつどい 餅つき大会
19	日	
20	月	全校朝会 クラブ活動(クラブ発表)
21	火	
22	水	6年生を送る会練習集会
23	木	6年生を送る会 13:25~14:30
24	金	保護者会(1~3年13:45~)(4~6年14:45~)
25	土	
26	日	
27	月	全校朝会 クラブ活動 1年ふれあい給食
28	火	

東京藝術大学生によるアウトリーチ【公開】

日時：2月9日(木) 5校時(13:45~14:30)

場所：向山小学校 体育館

内容：金管六重奏の鑑賞及び楽器演奏体験

トランペット(2)・ホルン・トロンボーン・チューバ
ユーフォニウム

対象：本校4年生児童・保護者・地域の方々

※質の高い、本格的な金管楽器の演奏を聴いたり、楽器に触れたり
します。保護者や地域の方々にもご参観いただけますので、ぜひ
お越しください。

※なお、携帯、スマートフォンを含め、写真、ビデオ撮影は一切で
きませんので、ご了承ください。

第26回もちつき大会 ~葉かげのつどい~

日時：2月18日(土) 11時半~13時

【受付は11時からです】

場所：向山小学校 体育館

◆◆◆校内研究◆◆◆

今年度の研究テーマは「楽しさや喜びを味わいながら、すすんで運動に取り組む児童の育成」です。各学年で1回ずつ計6回の研究授業を行いました。

昨年度の研究の成果と課題を活かしながら、子供たちがめあてをもち、楽しく運動できるような場の設定や言葉かけの工夫、学習資料を考えました。

授業研究以外では、年間指導計画の見直し、オリンピック・パラリンピック教育の推進、日常的な体育の充実をめざし、研究を進めてきました。

運動に親しみをもてるような指導法の工夫や様々な取り組みが、子供たちの体力向上に結び付くことを願っています。

研究主任 服部 澄夫

学年の窓~2年生~

生活科で「つくってためして向山ランド」という学習をしました。12月には、身近なものを使って1年生と一緒におもちゃを作って遊ぶ学習をしました。

1月には、グループごとにテーマを決めて手のひらサイズのカルタを作り、保護者の方々と楽しく遊びました。テーマは、向山小、2年生、昔話、お正月、冬、オリンピック、あいさつ、2年間の思い出など、どれもとても良くできていました。

子供たちの感想を紹介します。

- 家の人と一緒に遊ぶことがあまりなかったの、すごく楽しかった。
- 小さい子にもとらせてあげて楽しくできた。
- 仲良く作って、けんかをしないで遊べてよかった。

グループでの準備の様子や、楽しく遊ぶためのルール決めなどを見ていると、子供たちのアイデアが大集合していて、この2年間の成長が見えて嬉しく思いました。

1組担任 山口のりこ

2組担任 小林 裕美

3組担任 鈴木 真